

<亀岡行政区委員会> かめおか作業所訪問の感想まとめ

2011. 12. 1(木) 10:00~12:00

- ・今回、はじめて作業所訪問させてもらいました。厳しい現状や作業の様子を聞いたり見たりして、とても勉強になりました。一個人としては、物品を購入させてもらったり、子どもたちにも今回学んだことを、いずれは教え、みんな平等に明るい社会を築けるようにしたいと思いました。
- ・作業所で働く方が、イキイキしていて活気がありました。不自由なお体で一生けんめい作業されているご婦人の姿に心打たれました。働くということは、単に賃金を頂くためだけでなく、人間として輝ける、尊厳を保てることなのだと思います。作業所の存在、担う役割のすばらしさも、皆にもっと知ってもらえたらよいと思います。できる範囲で協力していかなければと思いました。
- ・民間企業に就職された方が、職場で孤立し離職されていくことが大きな課題と言われた時、受け入れ先が増えても、続かなければ意味がないことを痛感し、本当に大きな課題だと思いました。師走ということもあり、ダイレクトメールや袋詰めが沢山ありましたが、こんなに一生懸命お仕事されて、年間25万円は本当にキツイ。自立支援法により経営が圧迫され、人件費が削らざるを得ない事は、通所されている方々にとっても不安なことだと思う。
- ・見学に行くたび「なかま」の一生けんめい作業している姿に元気をもらいます。現場を訪れることは大切です。作業所と障害者の現状を、たくさんの人に知ってもらい（給与、生活状況）、自分たちができる事の協力（⇒販売品を利用するなど）を、続けていきたいと思います。作業所側からのアピールと、行政や諸団体からの応援で、みんなが幸せに暮らしたいですね。グループホームも、もっとも必要になってくるだろうし…。製品リスト、販売所などの宣伝に、生協も協力できればいいな～。
- ・今回のかめおか作業所は、全員が初めての訪問でした。私も近所でありながら一度も言った事が無かったものですから、行くのを楽しみにしていました。時間の関係で体験は出来ませんでした。見学が出来てお話も聞けて、とても良かったです。皆さん明るいあいさつもしてくださって、職場の雰囲気も大変良かったです。一生懸命目標を立ててがんばっておられる姿を、幅広い皆さんに知ってほしいと思った一日でした。第4かめおか作業所が作られる事も願っています。
- ・初めてなので、始めに出来た作業所ということもあり楽しみでした。思ったより広く、皆さま楽しそうに仕事されて、私も見せてもらい良い印象を持ちました。特別なマシンにはビックリしました。とても丁寧につくられているので、分かる人にもっともっと利用してもらいたいです。
- ・お話を伺うたびに、障害者自立支援法「応益負担」の考え方は、全く理不尽だと思います。亀岡福祉会さんでは、障がいの重さに対応した様々な事業をされていて、障がいを持つメンバーさんの「仕事の場所・生活の場所・余暇の充実・相談場所」を30年かけて作り上げてこられました。職場のあちこちには目標を掲げたポスターがあり、皆さんが笑顔で仕事をされていました。職員の方がお一人おひとりを大切に見守っている雰囲気が温かかったです。「支援を受ける側だけでなく、町づくりや町起こしの役に立ちたい」と、地域イベントやボランティア参加などにも取り組んでいる姿にも感動しました。署名以外でも、私たちが協力できないことがないか？考えていけたらと思いました。

以上